

茨城県立つくば工科高等学校

ロボット工学科 NEWS

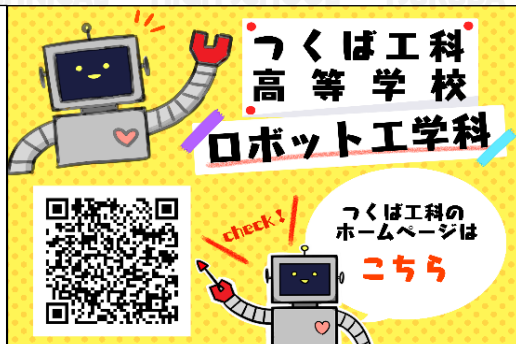
第57号 令和4年5月24日



道は必ず開ける！

(ロボット工学科 家中)

今年も技能検定の課外が始まりました。まずは先生が正しい工具の使い方、効率的な方法を“やってみせ”ますが、『技』というものは、自分で“やってみて”はじめて身につくものです。繰り返し、繰り返し練習して次第にできるようになっていくという時間と忍耐力がいるものです。そもそも技とは、普通の人が真似できないことができるということです。指示された通りにつくればよいだけですが、完成に至るまでの過程にどこかあなたのオリジナルな部分が含まれているはず。それが『技』なのです。同じ部品や工具、同じ方法であれば同じモノができ上がるはずですが、そうではないでしょう。皆さんはロボットではないからです。初めはうまくいかないことばかりかもしれませんが、自分の力を信じて諦めずに挑んでください。その強気な気持ちがあなたを目覚めさせるのです。



課題研究のテーマが決定！

各自で『未来産業とロボット』を基調とした研究テーマを考えてきましたが、いよいよプロジェクトチーム(7班)を編成し、研究活動に入りました。これからは個人ではなく、チームで研究していくことになります。さらに今後、企業や他の学校、研究所など外部との連携や助言もいただくこともあります。実際に実習室、学校の外で活動する予定も入り始めました。この1年間の取り組みを、工業高校の、しかもロボ科でしかできないものにしていきましょう。皆さんに期待しています。



実習とは違った技能検定仕様の作業エリア。

技能検定特訓中！

三級電子機器組立てを受検する30名は、現在、水曜日と土曜日の課外で実技練習をしています。すでに資格をもっている先輩たちも手伝ってくれています。興味がある生徒の皆さん、保護者の方はどうぞ、見学してロボ科の『組立技術』をご覧ください。



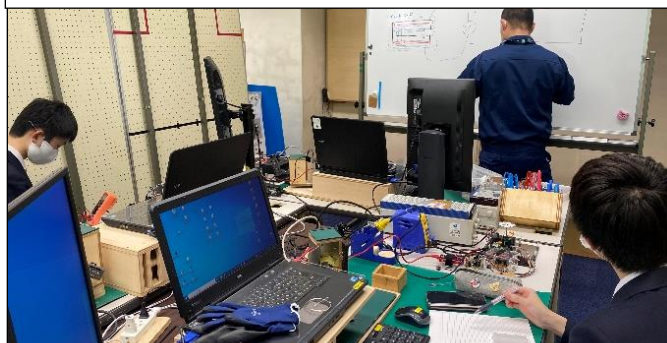
実習とは違った技能検定仕様の作業エリア。



実験場は雑草で荒れ放題。草取りからです。(農業班)

ものコン練習始まる！

高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門にチャレンジする3名の練習が始まりました。この日はプログラミングと出力波形の観測をしました。初めてオシロスコープを使用するので、まずは使い方から。プログラムによって波形が違ったりLEDの光り方が違うことに驚き。



金属3Dプリンタ導入

工科の新しい施設のひとつ、金属3Dプリンタが入りました。ロボ科の先生方も初めて扱う機械なので、まずは使い方を勉強しています。

<課題研究プロジェクトチーム>

◆環境分野

- ①霞ヶ浦水質調査班
- ②マイクロプラスチック回収班

◆物流分野

- ③宅配ロボット班

◆農業分野

- ④農業支援ロボット班

◆防災分野

- ⑤避難誘導ロボット班
- ⑥水難事故防止班

◆医療分野

- ⑦マルチ搬送ロボット班

チーム名は、それぞれユニークなネーミングを考案中です。研究の途中経過はインスタやロボ NEWSでお知らせしていきます。



技能検定の合格証と徽章が届きました。

ロボット工学科 NEWS では、開かれた教育を目指してロボ科の教員・生徒の身近な話題を取り上げ、積極的に情報発信しています。